

千葉大学医学部附属病院で下垂体機能合併妊娠のため 妊娠管理された患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年5月22日

産科・婦人科

産科・婦人科では、下垂体機能合併妊娠に対する周産期予後に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2014年4月1日～2023年3月31日の間に産科・婦人科で下垂体機能低下症合併妊娠のため受診された方

1. 研究課題名

「下垂体機能低下症合併妊娠の周産期予後に関する検討」

2. 研究期間

2025年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

下垂体とは頭蓋骨のなかにあるホルモンを分泌する器官です。様々なホルモンを分泌し人間の体をコントロールしています。下垂体機能低下症は、下垂体が分泌するホルモンの量が減ってしまうことで引き起こされる病気です。ホルモン補充を行わないと、食欲不振や体重減少、重度の倦怠感などの症状が現れ、重症化すると命に関わる場合があります。そのような方が妊娠した場合、妊娠中に適切なホルモン補充が行われないと妊娠中の合併症や帝王切開率の上昇、お産の時に出血が多くなることが言われています。

当院で管理した下垂体機能低下症を合併した妊婦さんの臨床経過や産後の経過を解析

することで、より良い妊娠・分娩管理に役立てられると考えます。

利用する情報は患者さんの診療録から2025年3月31日までの診療録を収集し解析を行います。研究成果は、学会・論文等で発表します。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記録されている診療情報、過去の妊娠分娩について、妊娠中のホルモン補充量の変化、妊娠中の合併症の有無、分娩時の情報（分娩誘発の有無、分娩方法、お子さんの体重や合併症、NICU入院の有無、分娩時の出血量）などについて調べます。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：産科・婦人科 教授 甲賀かをり

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院産科・婦人科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

産科・婦人科 医員 廣岡千草

043(222)7171 内線 5314